

「日光プロジェクトに参加して－何を再発見したのか」

過去の日光プロジェクト参加者－ラハマン シェイク ハビブル (バングラデシュ)

日光プロジェクトに参加して－私の再発見 2020

今年3月宇都宮大学の卒業した学生ラハマン シェイクと申します。

2016年4月から2020年3月まで宇都宮大学で勉強する機会を与えてくれた大学のすべてのスタッフと教師に感謝しています。

特に、私の指導教員 重田先生と重田研究室の皆さんに心からの感謝と敬意を表したいと思います。この大学で人生で最も美しく楽しい4年間を過ごしたことをとても幸運で誇りに思います。4年のうち研究生2年間と大学院2年間勉強した時様々な研究会に参加しました。その内宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターによる2016年度、2017年度、2018年度の国際交流都市日光の再発見!「まちづくりと観光開発を留学生と考える」シンポジウムに参加しました。日光プロジェクトに参加して、再発見したのは以下の通りです。

国際交流都市日光の再発見

- ・国際交流都市日光の魅力
- ・国際観光開発
- ・国際交流
- ・地域づくり
- ・フィールドワーク

フィールドワークからのアドバイス (観光客の方)

- ・日光に関わる情報をもっと宣伝する
- ・インターネット、東照宮以外の場所
- ・外国語の提示するよう看板をもっとセット
- ・ガイドブックを増やす
- ・日光に泊まりのとき日光－栗山の多くの時間がかからない交通コースを提供
- ・地元でしか買えないお土産を買って欲しい大手会社が支社を設立

良いところ (働いている方)

- ・おもてなし親切で丁寧に接客すること
- ・道が分からないとき熱心に案内すること
- ・外国人の観光客に英語で対応
- ・ツアーの観光客にいい旅を作って差し上げる
- ・色々と案内をすること (道、お店、温泉)

感想とまとめ

- ・国際交流ができて、よかった!
- ・日光に対し、問題点と解決策を一緒に考えるべき
- ・高齢化の影響－若者たちへ日光悠久の歴史を伝える
- ・豊かな自然と人間たちの知恵と共に
- ・自分ができること、また行きたい

初めは日光の名前と日光東照宮しかわからなかったです。しかし日光に行ってみて、日光東照宮、五重塔、奥日光の滝など、日光の自然の美しさや歴史、文化に驚きました。観光客の方とお話を伺いました。A T M、駐車場、言語、交通機関などの問題の事を知りました。観光客が日本語が話せない、現地の人が英語または外国の言語が分からないで、コミュニケーションが中々難しかったです。最初に日光に訪問したのは、5年くらい前何ですが、日光市役所が観光客の施設を改善してくれました。

私の個人的な意見では、日光市の観光客を増やすには、観光が日光の東照宮だけでなく、他の魅力的な場所を紹介すること、夜の観光を手配する方法について、もう少し計画を立てる必要があります。

日光訪問のアルバムからいくつかの写真 以下の通りです。



「日光プロジェクトに参加して－何を再発見したのか」

過去の日光プロジェクト参加者－タマン ラズクマリ（ネパール）

皆さんこんにちは。本日のシンポジウムに、以前参加させていただいたことのコメントをさせていただきます。私は2016年と2017年の2回、この日光の開発プロジェクトに参加しました。最初に2016年に参加したのは、日光東照宮、中禅寺湖訪問、2番目に2017年は栗山・湯西川地区でした。最初、2016年に参加したときは、日本語学校で勉強していた時の日光のイメージとしては、東照宮と中禅寺湖のことしかわからなくて、2回目の栗山・湯西川地区に行ったときに、日光というイメージは東照宮と中禅寺湖のことだけではなく、ほかのところも知らないものがたくさんあることに気づきました。その際私たちのプロジェクトでやっていた内容としては、海外からやってきている観光客及び日本国内からきている観光客が気付いた点を聞き、アンケートを取りまとめました。その時、東照宮のほうに来てたお客さんの声としては、子供と、年配の方、体の不自由な方はちょっと上のほうに登れなかった、行けなかったということがあって、中禅寺湖のところ、上のほうのところは交通の便が不便のため自由に動けなかったということと、あとはWi-Fiが無かったので無料のWi-Fiがあれば海外から来ている人たちにとっても便利なおところになるのではないかと、という意見もありました。あとはATMとかもあつたらとてもいいのではないかな、という意見を聞きました。あともう一点、多分他言語の言葉で看板があればいいのではないかとという意見も多く聞き、英語の看板とかもっと増やしたほうがいいのではないかな、という話も結構ありました。今回、これから日光を訪れる観光客に対しては、もっと便利なおところ、便利な観光地域になりつつあることに気づきました。その次は、2016年にプロジェクトに参加した際に、一番気づいた点としては、年齢のギャップとして、中禅寺湖だと年齢の若い人たちが多くいたこと、東照宮のほうだとどの年齢の方も多くいて、中禅寺湖はちょっと年齢の若い人たちをターゲットにしていろいろなイベントとかあつたほうがいいかな、と感じていました。その次は、2017年の時に私たちが行ったのが湯西川地区に行きました。そちらに行ったら、やはり冬とかにいろいろイベントとかあつたほうが、お客さんに対して楽しめることがたくさんあると観光客も増えるのではないかと感じました。その他の点として、前と今は変わりつつあり、いろいろよく楽しめる観光地域になっていることに気づきまして、今はコロナ禍ということもあって多くの人数が一緒に行けないということもあると思いますが、日本国内に住んでるお客さんたちとか日本国内に住んでる多くの外国人の方も含めて、もう一度日本国籍の方も含めて、日光のことをもっと宣伝していけばもっと良くなっていくと思います。あとは自分ネパールからきてまして、ネパールは山のほうが観光として一番人気あるので、やはり日光のほうも山がたくさんあつて自然がすごく豊かで、そういう自然のことをもっとビジネス的に、日光のメリットとして利用していけばとってもいいのではないかな、と思いました。私からのコメントは以上になります。

「日光プロジェクトに参加して－何を再発見したのか」

過去の日光プロジェクト参加者－鈴木アリサ（宇都宮大学国際学部4年生）

こんにちは。本日は貴重なお話ありがとうございました。私は去年、国際交流都市日光の再発見『観光モデルを留学生と考える』プロジェクトに参加した、宇都宮大学四年生の鈴木アリサと申します。よろしくお願いいたします。

まずはじめに、私がプロジェクトで何をしたのか、何を感じたのかについて手短かに説明させていただきます。私は日光、観光地における食事や買い物について留学生の方々とアンケート調査を進め、改善点を考える、ということを行いました。観光客の方々が実際日光を観光してどう感じたか、というアンケートでは「景色が最高」、「秋だったので紅葉がきれい」、「平和・静かな感じが良い」、食べ物などについては「安いし美味しい」、「湯葉のためにきた」、などという回答が得られました。私も恥ずかしながら去年のプロジェクトで初めて日光に行き、東照宮を除いて、イギリス大使館別荘記念公園や戦場ヶ原、華厳の滝、中禅寺湖などを周りました。秋の晴れていた日に行った、ということもあって素晴らしく綺麗な風景を目の当たりにしたことを覚えています。

観光客の方々、そしてお店の方々の貴重な時間をいただいてアンケート調査を行い、一番気になった共通点が、「キャッシュレスが使えるお店が少ない」という点でした。先程野口様のご講話でもありましたように、課題の一番最初に Wi-Fi やキャッシュレス決済の問題がまだあるように思います。またさらに台湾、中国の方が多い、ということもあったのですが、WeChatPay などなおさら多くの方々が買いやすいシステムを作ることが必要だと考えられます。お店側としてもキャッシュレスで物や食べ物を買いたいお客さんが増えていることは認知しているようだったのですが、「手数料が高い」などの理由でなかなか取り組めていないという話が多くありました。

そんな中、神橋近くで撮ったこの写真は、お賽銭をQRコードで、つまり外国人観光客の方々などがキャッシュレスで奉納できるようにしたシステムです。これは、新鮮な取り組みだと思います。観光地（神社）はかなり進んだ取り組みをしている、ということに改めて感じました。しかし、お賽銭だけキャッシュレスが使える、ほかのお店で使えない、というのはかなり観光客も不便を感じる場所だと思うので、観光地とお店の連携、あるいは日光市としてキャッシュレスを進める取り組みを行うことが、これからできることなのではないかと考えます。康さんのご講話にもあったように適切に環境を整備することが必要だと思います。

さらに、コロナ禍における今できることは何でしょうか。先日、YouTubeで「日光」で検索をしてみたところ、チャンネル名「citynikko」で2017年10月30日に掲載された動画、『【日光市観光PR動画】Re:NIKKO』では、12万回の再生回数を記録しており、続けてチャンネル名「本物の出会い栃木」が先日2020年10月7日に掲載した動画、『Tochigi Japan in 8K - 日光・那須／栃木』がなんと、1997万回の再生回数を記録していることを確認しました。これはYouTubeの広告で成功したケースだといえると思います。

野口様のご講話にあったように、情報発信やプロモーション事業を今年はタイとオーストラリアで行ったとありましたが、SNS動画だと国に絞らなくてもよいので、これからはほかのSNSなども最大限に利用して良いところを紹介し、または日本のインフルエンサーを使っておすすめのコースを紹介する、などといった取り組みもできるのではないかと考えます。もうすでにあるかもしれませんが、より詳しい説明や感想がわかるような動画を作ることも良いと思います。

さらに、野口様のご講話の中で、JNTOを通してYouTubeで『【日光市観光PR動画】Re:NIKKO - WINTER - (冬)』を配信しているという話があったのですが、先程確認したところ再生回数が9,131回

でした。視聴回数のみで判断するのは確かに厳しいかもしれませんが、誰に見せたいのかが明確でないところや、映像は素晴らしいのにもったいないというところなどの課題点があると思います。増淵様のご講話であった自然体験サービスなどの動画とコラボすることなども可能だと思います。日光自然ガイド協議会と連携することで、よりたくさんの方々の魅力が紹介できるのではないかと考えました。

動画は外国人や他の県の方々のためだけではなく、日光に住む方々のために流しても良いと思います。と言いますのも、受け入れ態勢の整備として、スペイン語講座などという話もあったのですが、去年のお店の方々へのアンケートを通して、言語やコミュニケーションに強い不安を感じている方は少ないように感じました。今は翻訳アプリもあるので、そのようなツールが使われている方が多いと思います。鈴木先生のご講話にもあったように、どっちかという地元への誇りなどが弱いように感じるところが課題点だと思います。鈴木先生のお言葉を借りますと、「日光というブランド」なので、ブランド価値として推していく力を強めるべきだと思います。

コロナ収束をただ待つよりは、いつ収束するかは誰にも分からないので、臨機応変に時代に合わせたマーケティングが必要だと思います。また、康さんのご講話のうち、F I T 観光という言葉が出てきたのですが、その中でも一例として、アニメなどにでてくるモデルの地域を聖地として「聖地巡礼する」などという話がありました。私は残念ながら視聴はまだしていませんが、今大人気の『鬼滅の刃』などで意図はしていなかったかもしれませんが、マーケティング効果がすごいです。そう考えると、逆に漫画に限らずに、日光をモデルとした何か、アニメでもいいかもしれませんが、意図したマーケティングもこれからできる戦略のうちの一つなのではないかと考えます。今だからこそ、栃木、日光の素晴らしさを発信していくべきだと思います。ありがとうございました。

日光プロジェクトに参加して

宇都宮大学 4年 鈴木アリサ



- ・景色が最高
- ・紅葉がきれい
- ・平和・静かな感じが良い
- ・安いし美味しい
- ・湯葉のために来た



観光客・お店の人々にアンケート

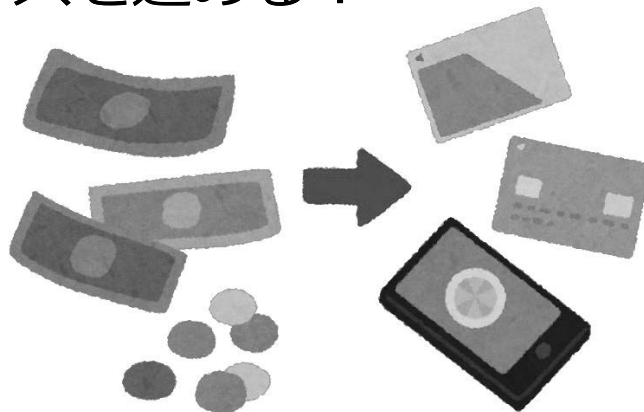
キャッシュレスが使えない

観光客：現金がない、不便

お店：手数料が高い、操作がわからない



お賽銭も、他の買い物もキャッシュレスを進める！



コロナ禍、今できること

「citynikko」
2017/10/30
【日光市観光PR動画】Re:NIKKO
12万回 （2020年12月2日時点）



「本物の出会い栃木」
2020/10/07
Tochigi Japan in 8K -日光・那須/栃木
1997万回 （2020年12月2日時点）



Youtubeなどの広告を最大限に利用

インフルエンサーを使ったオススメのコース
の紹介

**栃木、日光の
素晴らしさを発信**

